

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立大道南小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	東淀川区
学 校 名	大阪市立大道南小学校
学 校 長 名	新井 寿栄

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立大道南小学校では、第6学年 27名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立大道南小学校の結果概要

今年度の全国学力・学習状況調査における本校児童の正答率は国語科45%、算数科42%であった。全国平均正答率と比較すると、国語科－15.9ポイント、算数科－14.4%となり2教科とも下回る結果となった。今年度の大きな特徴として無解答率の高さが挙げられる。児童質問紙においては、自己肯定感の高まりや、規則正しい生活を送ろうとする意識の高まりが見られる。また、国語科や算数科を「好き」や「得意」と答えたり、「内容がよくわかる」と答えた児童は全国平均値を大きく上回っており、学校での学習に対し満足感を持って、前向きに取り組んでいることも明らかとなった。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

[国語科]

国語科においては、全国平均正答率と比較し－15.9ポイントとなった。

成果として、まず「言葉の特徴や使い方に関する事項」において、大阪市の平均正答率に迫る結果となったことが挙げられる。学校として国語科の研究に3年間取り組んできたことが、語彙力の向上につながっていると考えられる。また、漢字の書き問題においては、全国平均正答率を上回る結果となり、毎年、漢字検定に取り組んできたことが着実に成果として表れている。

課題として、自分の考えを文章で表現する力の育成が挙げられる。「書くこと」に関して、全国平均正答率を大きく下回る結果となり、資料から大切な言葉を抜き出したり、また、それらに関連づけたりして文章で表現するが苦手な児童が多いことが明らかとなった。

[算数科]

算数科においては、全国平均正答率と比較し－14.4ポイントとなった。

成果として、長年本校の課題であった「図形領域」において、平均値との差異に改善が見られた。国・算学びサポーターを活用し、一人一人に寄り添う指導を実践してきた成果が表れている。その一方で、特に「データの活用」の領域においては、表やグラフなどから情報を正確に読み取り、整理したり、活用したりすることに対し、苦手意識を持つ児童が多いことがわかった。

質問調査より

今年度児童質問調査の結果より、「自分にはよいところがあると思いますか」に対し、80%の児童が肯定的な回答をしていることがわかった。さらに最も肯定的な「当てはまる」と回答した児童は、55.9%と全国値を大きく上回っている。この結果より、本校の児童は高い自尊感情を持っていることがわかる。教職員が普段の学校生活において児童を認め、励まし、児童の良いところを伸ばそうとする指導が成果として表れている。

課題として、読書離れがあげられる。「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」という問いに対し、「全くしない」と回答した児童は、55.9%と全国値と比較しても多い結果となった。また、「昼休みや放課後の学校図書館の利用」についての質問では、50%の児童が「全く利用しない」と回答しており、読書に親しむ習慣を身につけることが今後の課題である。

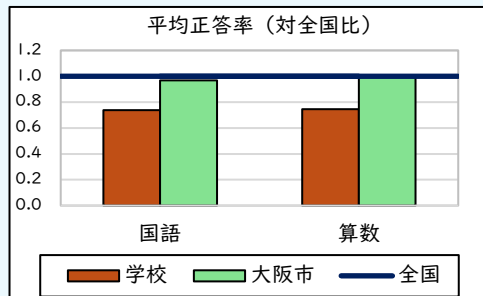
今後の取組（アクションプラン）

- ・全国学力・学習状況調査を分析し、児童に育むべき学力をしっかりと把握した授業づくりを実践する。
- ・ティーチング・エンパワーメント事業のスクールアドバイザーと連携し、国語科の研究に取り組むことで、「読む・書く・聞く・話す」といった基礎基本の学力を養い、その基礎学力を活かした協働的な学びを実践していく。
- ・読書に親しむ習慣を身につける取り組み（デジタル読書の導入、読書タイムの設定、読み聞かせタイムの設定、新聞コーナーの充実等）を行い、児童の語彙力の向上を図る。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

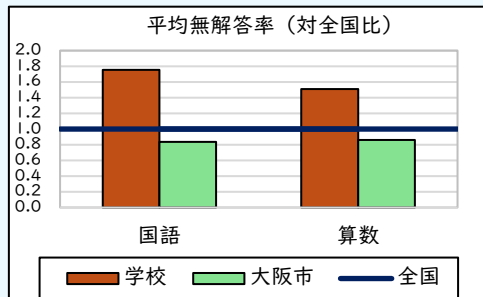
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	45	42
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



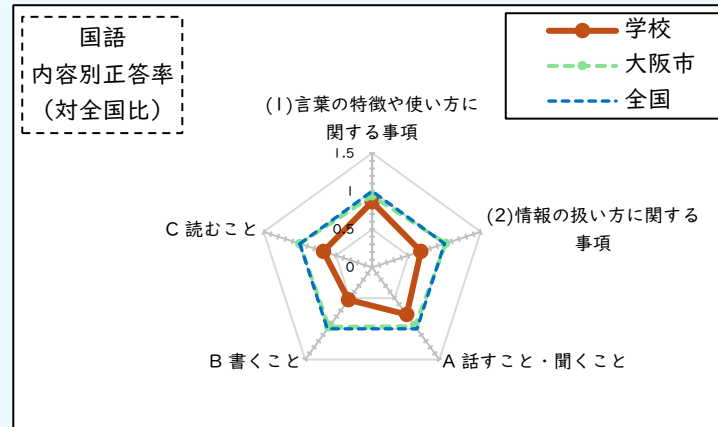
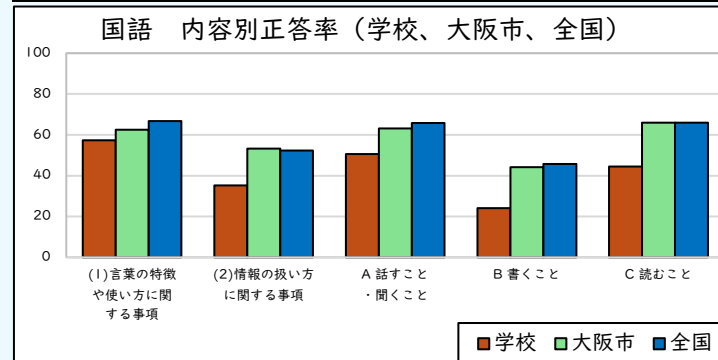
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	6.0	4.8
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



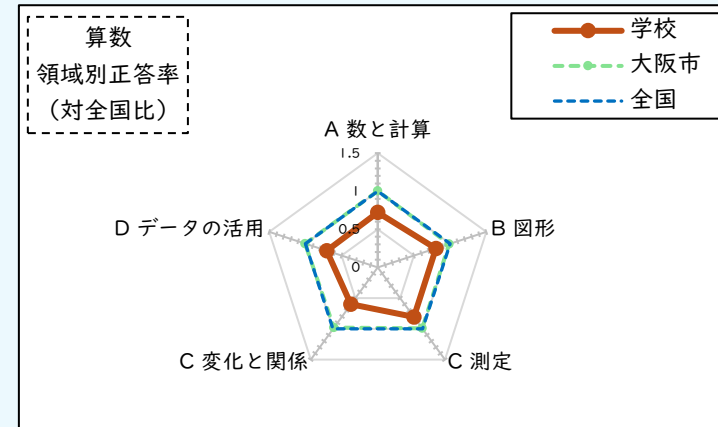
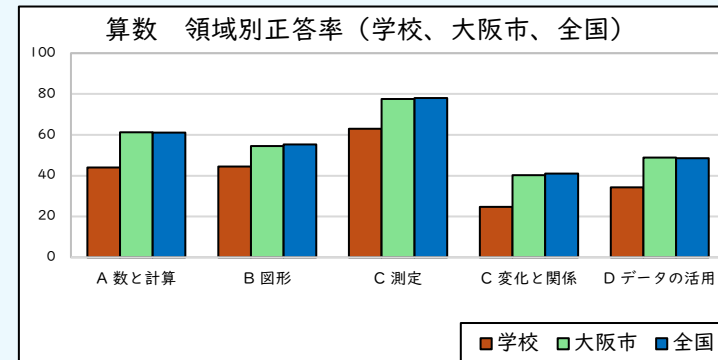
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	57.4	62.5	66.8
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	35.2	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	50.6	63.1	65.8
B 書くこと	2	24.1	44.2	45.7
C 読むこと	2	44.4	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	44.0	61.2	61.1
B 図形	4	44.4	54.5	55.3
C 測定	1	63.0	77.5	78.1
C 変化と関係	3	24.7	40.3	41.1
D データの活用	4	34.3	48.8	48.6



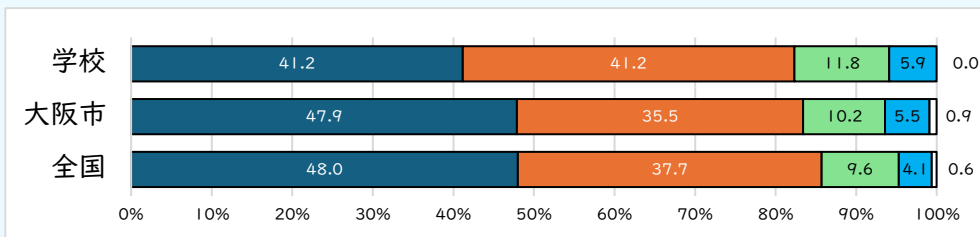
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号 質問事項

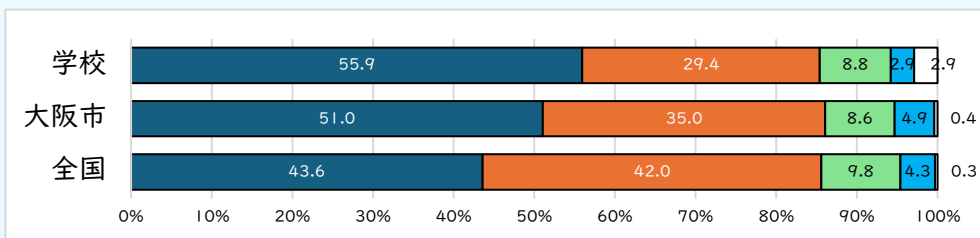
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(15) 学校に行くのは楽しいと思いますか



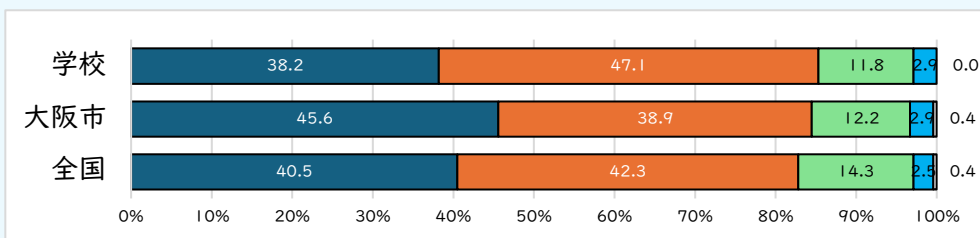
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(8) 自分には、よいところがあると思いますか



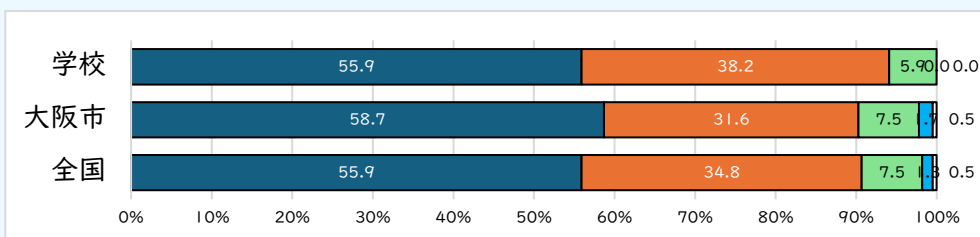
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



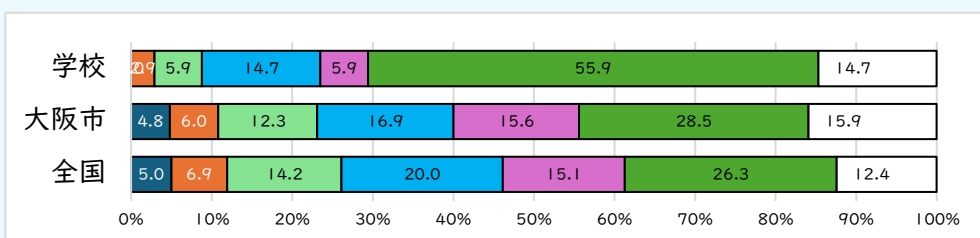
1 している
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(3) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



1 している
2 どちらかといえば、している
3 あまりしていない
4 全くしていない

(26) 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



1 2時間以上
2 1時間以上、2時間より少ない
3 30分以上、1時間より少ない
4 10分以上、30分より少ない
5 10分より少ない
6 全くしない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

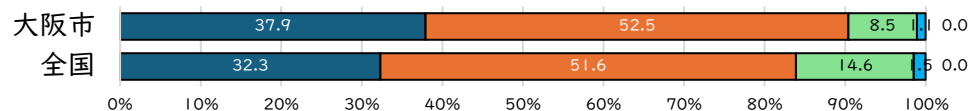
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8)

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

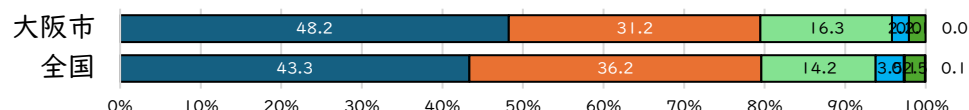


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(14)

前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

【学校の回答】 1 週に1回程度、または、それ以上行った

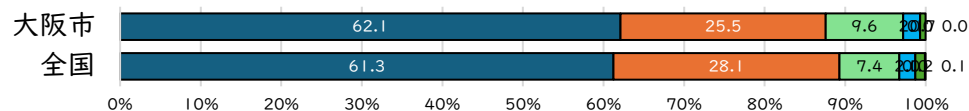


1 週に1回程度、または、それ以上行った
2 月に数回程度行った
3 学期に数回程度行った
4 年に数回程度行った
5 行わなかった
6 特に問題を抱えていなかった

(15)

前年度に、教員が学級の問題を抱えている場合、ともに問題解決に当たることを行いましたか

【学校の回答】 1 週に1回程度、または、それ以上行った

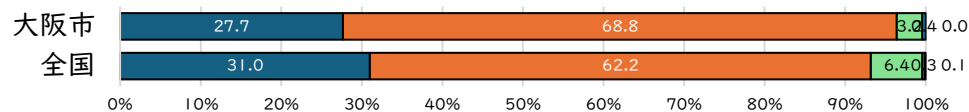


1 週に1回程度、または、それ以上行った
2 月に数回程度行った
3 学期に数回程度行った
4 年に数回程度行った
5 行わなかった
6 特に問題を抱えていなかった

(29)

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

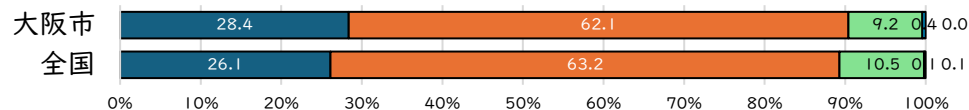


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(44)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、評価規準や評価方法の教員間での明確化・共有化や、学年会や教科等部会等の校内組織の活用等、組織的かつ

【学校の回答】 1 よく行った



1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった